

編集後記

torami

今回は編集だけにしよう…と思っていたのですが、瞑想会がとても楽しかったので、体験談を書いてみました。前回同様、できあがるまでは少々苦しかったのですが、終わってみるとやっぱり書いてよかったなあ、と思います。目の前が明るく、パアッと開ける感覚があり、自分が軽くなっていくような気がします。そして気づけばもう8月。子供の頃の思い出が沢山つまった大好きな夏は、瞑想がますます楽しみになるのです。

しずあめ

夏は空をよく見上げます。洗濯ものを干すとき、持って出るのを日傘にするか、雨傘かで迷ったとき。夜は、ドーンドーンと音が聞こえると、そわそわとベランダに出て打上げ花火を探します。街なかにいっても、ふいに蝉がカタカタと羽音をたてながら空を飛ぶのを見ると、子どもの頃が思い出されます。8月も半ばを過ぎると空が高く感じられて、もう夏休みが終わるなあ、なんて思っていました。

大空旅人

宝彩BBマガジン第3号を完成させることができました。素直に、よかったなあと思います。さて、こうしてマガジンを作ることができるのは、スタッフの皆さんが、それぞれの持ち味を活かしながら、大きな力を発揮し、そして、気持ちよく協力してくださるおかげです。修行仲間でもあるスタッフの皆さんとともに、マガジンの制作に関われることは、本当に幸せなことだと思います(^ ^)

黒幕

最近は時間があると瞑想ばかりしていますが、以前はよく休みの日に長い散歩に出ていました。川沿いの道などを何時間もかけて歩くのです。炎天下に飲み水をたっぷり用意して、帽子をかぶって、木陰に吹く風を頼りに歩くのも、なかなか楽しいものです。しかし、今年は絵に描いたような炎天がありませんね。夏好きの私にはちょっと寂しい。せめてエアコンのない部屋で、窓から吹き込むわずかな風を感じながら瞑想でもしましょう。

チバ

今回も面白かったなあ。そりゃ、何がって編集作業です。自分が書いたものに編集コメントをもらって原稿を修正したり、他の人の編集担当になってコメントしたりといった作業です。この作業で、自分が書いているものを見直していると、その奥にある考えやプログラムに気づいたりといった発見があります。またこちらのコメントにより、執筆者の方が自分を掘り下げ、新たな気づきがあることも醍醐味です。それでは、みなさん、いい夏を！

ねぎ

宝彩 BB マガジンに第3号より参加させて頂き、初めての経験でよくわからないことだらけでした。ですが、伝えたいことを編集担当者の方と掘り下げて行く作業はスリル満点の修行でした。自分の気付きを形に出来て、省みれたことはありがたいことでした。編集スタッフのみなさんと制作にかかわることが出来てうれしかったです。

大変お世話になりました。

宝彩有菜

ありがとうございました。新編集長に「大空旅人」さん、スタッフに新たに「あはは」さん「ねぎ」さんも加わり、みんなが力を合わせて作りました。お蔭様で素晴らしいマガジンになりました。制作過程も毎回楽しいものです。いつか紹介したいくらいです。きっと、自分の心を、誰かと一緒に真剣に深く考えることができるので、修行の良いヒントになるのだと思います。修行仲間が集ってこそそのダイヤモンドの磨き合い。そんな感じです。

Mayur

編集仲間とはこれまでも修行を通じてつき合っても長いのですが、宝彩 BB マガジンを作る過程で、執筆・編集・校正と、互いに立場を変えながら作業を行うことで、自分にも、仲間にも、新たな発見が尽きることはありません。これからもそうでしょう。かき混ぜることで新鮮な空気にふれ、うま味をましてゆく、ぬか床のように。

あはは

編集スタッフとして初参加させていただきました。自分の記事を、編集担当さんと、推敲していく過程で、果たして自分は何を伝えたいのか？と迷う部分が多々ありました。しかし、そこがまた、「自分を観照する」という新たな修行で、とても貴重な経験となりました。頑張ってた良かった～と言いたい気分です。皆様のおかげ!! ありがとうございました。

トモ

宝彩BBマガジン第3号も無事完成しました。送り出す方として、出来上がるまでの過程を知っているということに幸せを感じます。原稿が出来上がるまでの書き手の思いの変化や様々な工夫、伝えたいという気持ち。どれも温かく、共感できるものであり、自分自身の気づきにもつながります。きっと、そういうところまで読み手の方にも伝わっていますよね。今回も参加させていただき、本当にありがとうございました。幸せです。